



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月8日

上場会社名 関西ペイント株式会社

上場取引所 東

コード番号 4613 URL <https://www.kansai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 毛利 訓士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 管理本部長 (氏名) 吉田 一博

TEL 06-6203-5531

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	104,419	2.1	8,195	6.6	9,502	1.9	4,156	1.2
2019年3月期第1四半期	106,638	19.3	7,686	12.4	9,328	14.4	4,107	30.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 4,429百万円 ( %) 2019年3月期第1四半期 3,247百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	16.16	14.14
2019年3月期第1四半期	15.97	13.73

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	557,266	319,415	48.4
2019年3月期	584,135	320,661	46.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 269,857百万円 2019年3月期 270,016百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		16.00		14.00	30.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期中間配当金の内訳 普通配当14円00銭 創立100周年記念配当2円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	215,000	0.2	17,500	7.5	19,700	2.7	10,500	9.7	40.83
通期	440,000	2.9	36,500	13.0	41,500	19.1	22,500	29.3	87.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	272,623,270 株	2019年3月期	272,623,270 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	15,483,269 株	2019年3月期	15,480,336 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	257,141,454 株	2019年3月期1Q	257,252,050 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当期における世界経済は、地政学的リスクの高まりが継続し、各国の政治・政策・通商問題の動向など依然として先行き不透明な状況が続いております。そのような状況下、欧州や中国では弱さが見られますが、その他のアジア新興国では景気回復が継続しており、米国の個人消費や設備投資に支えられ、総じて緩やかな回復が継続しました。わが国経済は、輸出や生産に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善を受け、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は1,044億19百万円（前年同期比2.1%減）となりましたが、営業利益は原材料価格の下落や販売費及び一般管理費が減少したことなどから81億95百万円（前年同期比6.6%増）となりました。経常利益は欧州における持分法投資利益の減少などにより、95億2百万円（前年同期比1.9%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年は投資有価証券売却益の計上があったことから41億56百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

各セグメントの状況は以下のとおりであります。

## 《日本》

自動車分野は、新車用分野では自動車生産台数が前年を上回り、国内向け売上は伸長しましたが、輸出が減少したことから、売上は僅かながら減少しました。工業分野では、自動車部品向け塗料や飲料缶向け塗料などが堅調に推移し、売上は前年を上回りました。建築分野及び防食分野では、市況が堅調に推移するなか、売上は前年を上回りました。船舶分野では、造船分野の低迷を受け、売上は前年を下回りました。自動車分野（補修用）では、市況が低調に推移するなか、高付加価値製品の拡販に努めましたが、売上は前年を下回りました。

これらの結果、当セグメント全体の売上は前年並みにとどまりましたが、トータルコスト低減に努めたことにより、売上高は383億2百万円（前年同期比0.0%減）、経常利益は48億7百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

## 《インド》

自動車分野では自動車生産台数の減少が続き、売上は前年を下回りましたが、建築分野において、需要拡大継続のもと販売活動の促進に取組み、当セグメント全体の売上は前年を上回りました。また、原材料価格が安定的に推移したこともあり、利益も増加しましたが、円貨ベースでの業績は為替換算による押し下げの影響を受けました。

これらの結果、当セグメントの売上高は245億31百万円（前年同期比6.2%増）、経常利益は34億89百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

## 《アジア》

中国においては、自動車生産台数が前年を下回るなか、主要顧客の需要が伸び、自動車分野での売上は前年並みを維持しました。工業分野の売上は建設機械向け塗料などが堅調に推移し、中国全体での売上は前年を僅かながら上回りました。インドネシアにおいては、景気の減速感が強まるなか自動車生産台数が前年を下回り、自動車分野での売上は前年を下回りました。タイにおいては、自動車生産の回復を受け売上は前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は152億87百万円（前年同期比2.8%減）にとどまりましたが、原材料価格の下落や販売費及び一般管理費が減少したことなどから、経常利益は16億64百万円（前年同期比19.4%増）となりました。

## 《アフリカ》

南アフリカ及び近隣諸国の経済が低迷するなか、引き続き販売活動の促進に努めました。原材料価格は下落しているものの、通貨安が継続していることや、価格競争の激化などから、収益は大きく圧迫されました。

これらの結果、当セグメントの売上高は85億29百万円（前年同期比14.1%減）、経常損益はのれんの償却を含め経常損失9億3百万円（前年同期比 - %）となりました。

## 《欧州》

トルコでは、現地通貨ベースでの売上は伸長しましたが、通貨安による原材料価格への影響等が収益を圧迫しました。また、国内景気の低迷を受け、建築分野での需要が低迷し、持分法投資利益は減少しました。その他欧州各国においては、工業分野及び建築分野を中心に堅調に推移し現地通貨ベースでは売上は増加しました。しかしながら、為替換算による押し下げの影響を受けました。

これらの結果、当セグメントの売上高は161億45百万円（前年同期比10.5%減）、経常利益はのれんの償却を含め1億49百万円（前年同期比80.6%減）となりました。

《その他》

北米では、工業分野において自動車部品向け塗料などの拡販に努め売上は伸長し、また、持分法投資利益も増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は16億23百万円（前年同期比5.3%増）、経常利益は2億95百万円（前年同期比16.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は、2,361億69百万円（前連結会計年度末比300億2百万円減）となりました。流動資産の減少は、主に1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債の償還により現金及び預金が減少したことによるものであります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は、3,210億96百万円（前連結会計年度末比31億33百万円増）となりました。固定資産の増加は、主に有形固定資産などが増加したことによるものであります。

③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は、1,255億74百万円（前連結会計年度末比322億35百万円減）となりました。流動負債の減少は、短期借入金などが増加したものの、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債などが減少したことによるものであります。

④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は、1,122億76百万円（前連結会計年度末比66億12百万円増）となりました。固定負債の増加は、主に長期借入金などが増加したことによるものであります。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,194億15百万円（前連結会計年度末比12億45百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2019年5月10日発表の2020年3月期第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	74,614	45,796
受取手形及び売掛金	112,486	113,769
有価証券	3,148	1,259
商品及び製品	37,549	36,401
仕掛品	5,569	6,196
原材料及び貯蔵品	26,121	25,308
その他	9,758	10,517
貸倒引当金	△3,076	△3,080
流動資産合計	266,172	236,169
固定資産		
有形固定資産	127,444	130,854
無形固定資産		
のれん	39,782	38,396
その他	27,544	26,653
無形固定資産合計	67,327	65,050
投資その他の資産		
投資有価証券	84,032	84,213
その他	46,763	48,575
貸倒引当金	△7,604	△7,597
投資その他の資産合計	123,190	125,191
固定資産合計	317,963	321,096
資産合計	584,135	557,266

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	71,140	68,486
短期借入金	12,135	22,103
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	40,126	-
未払法人税等	4,219	3,016
賞与引当金	4,864	3,045
債務保証損失引当金	2,219	2,155
その他	23,103	26,766
流動負債合計	157,810	125,574
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	60,160	60,148
長期借入金	8,434	12,378
退職給付に係る負債	8,607	8,735
その他	28,461	31,015
固定負債合計	105,664	112,276
負債合計	263,474	237,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,658	25,658
資本剰余金	22,342	22,342
利益剰余金	237,721	238,262
自己株式	△25,537	△25,543
株主資本合計	260,185	260,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,876	30,064
繰延ヘッジ損益	622	645
為替換算調整勘定	△21,439	△22,386
退職給付に係る調整累計額	770	813
その他の包括利益累計額合計	9,831	9,137
非支配株主持分	50,644	49,557
純資産合計	320,661	319,415
負債純資産合計	584,135	557,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	106,638	104,419
売上原価	73,072	71,632
売上総利益	33,566	32,786
販売費及び一般管理費	25,880	24,591
営業利益	7,686	8,195
営業外収益		
受取利息	339	252
受取配当金	849	853
持分法による投資利益	1,363	707
雑収入	343	387
営業外収益合計	2,895	2,200
営業外費用		
支払利息	477	460
たな卸資産廃棄損	63	48
為替差損	283	203
雑支出	428	179
営業外費用合計	1,253	893
経常利益	9,328	9,502
特別利益		
固定資産売却益	3	11
投資有価証券売却益	518	53
子会社清算益	31	-
特別利益合計	553	65
特別損失		
固定資産除売却損	64	147
投資有価証券評価損	4	-
特別損失合計	69	147
税金等調整前四半期純利益	9,813	9,420
法人税等	4,739	4,122
四半期純利益	5,073	5,297
非支配株主に帰属する四半期純利益	965	1,141
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,107	4,156



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	5,073	5,297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	22
繰延ヘッジ損益	△635	22
為替換算調整勘定	△5,880	△1,115
退職給付に係る調整額	△44	42
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,823	158
その他の包括利益合計	△8,320	△868
四半期包括利益	△3,247	4,429
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,605	3,462
非支配株主に係る四半期包括利益	△641	966

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より一部の海外関係会社において、IFRS第16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	アジア	アフリカ	欧州	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	38,315	23,091	15,732	9,924	18,032	105,096	1,542	106,638	-	106,638
(2) セグメント間の内部 売上高または振替 高	3,444	10	1,013	65	23	4,557	-	4,557	△4,557	-
計	41,760	23,101	16,746	9,990	18,055	109,653	1,542	111,196	△4,557	106,638
セグメント利益または損失 (△)	4,618	3,466	1,393	△1,173	770	9,075	252	9,328	-	9,328

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益または損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域

インド……インド、ネパール等

アジア……タイ、中国、インドネシア等

アフリカ……南アフリカ、ジンバブエ、ウガンダ等

欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア、ルクセンブルク等

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	アジア	アフリカ	欧州	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	38,302	24,531	15,287	8,529	16,145	102,795	1,623	104,419	-	104,419
(2) セグメント間の内部 売上高または振替 高	3,016	18	773	76	19	3,903	-	3,903	△3,903	-
計	41,319	24,549	16,060	8,605	16,164	106,699	1,623	108,323	△3,903	104,419
セグメント利益または損失 (△)	4,807	3,489	1,664	△903	149	9,206	295	9,502	-	9,502

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益または損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域

インド……インド、ネパール、バングラデシュ等

アジア……タイ、中国、インドネシア等

アフリカ……南アフリカ、ジンバブエ、ウガンダ等

欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア、ルクセンブルク等